

2025 年度第一四半期決算説明会 主な質疑応答

1. 民間エンジン事業の状況・業績について

- ・ スペアパーツ売上が利益に貢献。PW1100G 新製エンジンの売上台数減少も利益にプラス要因。
- ・ PW1100G 新製エンジンの売上台数は期初想定より減少。今後の見通しを精査していく。
- ・ 整備費用増加(前期負担が少なかった分の反動)による一時的な減益があったが、下期は改善していく見通しであり、年度で見れば想定範囲内に収束する見通し。

2. 陸上事業の状況・業績について

- ・ 資源・エネルギー・環境は、期初想定を下回っている。これは、原子力事業における原価先行算入などによるもので、一過性の要素が強い。
- ・ 社会基盤は、下期に改善していく見通しで順調に推移している。
- ・ 産業システム・汎用機械は、車両過給機事業における販売価格改善などが順調に進み、概ね計画通りに推移している。

3. 米国の関税影響について

- ・ 米国の関税影響は不透明な部分が多い。関税影響が発生した場合でも、できるだけ負担を軽減する取り組みを進めている。
- ・ 民間エンジン事業では、新製エンジンの部品の一部を米国経由ではなく、アメリカ国外の組み立て工場に直送するなどの取り組みをプログラムパートナーと連携して進めるとともに、コスト削減なども強化している。
- ・ 1Qにおける米国関税の影響は、一部については費用が発生しているが、全体として影響は軽微。
- ・ 期初に 2025 年度営業利益見通しとして事業構造改革費用とあわせて織り込んだ 200 億円については変更しない。

4. 事業ポートフォリオ改革について

- ・ 成長性・収益性改善の議論を十分に行い、そのためにできる対策をまず徹底的に実施する。事業譲渡だけでなく、事業の収益性を上げていくことも構造改革と捉えており、次の中期経営計画に向けてやりきる。
- ・ 本日、新潟トランス株式会社と明星電気株式会社を譲渡することを決議した。
- ・ また、カーボンソリューション傘下の海外子会社において構造改革に着手し順調に進捗。

以上